

平成23年6月20日

(財)全国高等学校体育連盟  
フェンシング部 競技委員会

## 「審判の留意点」について

### 『はじめに』

この資料は、(社)日本フェンシング協会ルール・審判事業委員会が作成した資料「審判の留意点」を、(財)全国高等学校体育連盟フェンシング部競技委員会が高校生のルールに合わせて編集し直したものです。

2008年、日本フェンシング界は北京オリンピックで個人戦全種目出場という快挙を果たし、『太田雄貴 選手～史上初～男子フルーレ銀メダル獲得!』を実現させました。北京オリンピックでの銀メダル獲得以来、『フェンシングを知らない。』と答える国民はいなくなりました。また、サーブル・エペにおいても、ワールドカップでメダルを獲得しています。

今後、日本フェンシング界が益々発展し、選手のパフォーマンスが向上していくことが期待されますが、それには試合の大切な場面で『違反』をしないことが大切です。小学生・中学生・高校生の時期から、指導者の先生方が『何が違反なのか?』ということを指導していくことで、違反をしない選手が育って行きます。

高校生を指導されている指導者の先生方が、上記のようなことを踏まえて生徒さん達の指導をしていただければと思います。

## ～審判の心構え～

### (1) 審判団

- ① 審判団はファミリーという感覚を持ちましょう。
- ② 困った事があったら皆でサポートしあいましょう。
- ③ 審判員の態度や姿勢しだいで大会の進行がスムーズになります。凛とした態度で臨みましょう。
- ④ 審判員でありながら自分の所属先の応援をすることはタブーです。審判員としての自覚を持ちましょう。
- ⑤ 会場での監督、コーチ、選手達との私語は慎みましょう。
- ⑥ 皆で力を合わせて、大会を成功させましょう。

### (2) 審判の成功の鍵

- ① 良い審判の3つのポイント
  - ★FEELING (感覚。知覚)
  - ★TO KNOW (ルールの熟知)
  - ★TO APPLY (適用する)
- ② 常に公平かつ平等。
- ③ 優しさと厳しさを持つ。
- ④ ハンドシグナルは大きく、ゆっくり、丁寧に行う。  
(気持ちが落ち着きます！)

### (3) 服装について

- ① 審判員の服装が乱れていると、試合もだらけてしまいます。
- ② 最近、フェンシングに関する新聞掲載、テレビ放映等が多くなっています。どこから、誰に見られても恥ずかしくない服装、及びシューズでジャッジを行いましょう。

### (4) カードの付与 (違反と罰則の一覧表参照)

- ① 違反には必ずカードを付与しましょう。これは審判の使命です。
- ② カードは誰が見ても分かるように、ピストの中央で腕を高く上げて肘を伸ばして示します。(審判員のジェスチャーと号令を参照)
- ③ カードをスムーズに出せるように、イエローカードは胸ポケット、レッドカードはズボンのポケット、ブラックカードはお尻のポケットに入れましょう。
- ④ 右の選手の違反は右手でカードを付与します。
- ⑤ 左の選手の違反は左手でカードを付与します。

## (5) 試合前の準備

- ① 試合開始15分前に担当ピストの審判器やピストに異常がないかチェックをする。
- ② 試合に必要なものが揃っているかチェックをする。
  - ★スコアシート（ペンはあるか）
  - ★カード（イエロー、レッド、ブラック）
  - ★ゲージ
  - ★ウエイト（フルーレ、エペ）
- ③ 試合10分前に選手をコールする。
  - ★所属と名前を確認
  - ★1番目と2番目の選手をコールする。（試合運営をスムーズに！）
  - ★コール時に選手がいなければ試合から排除。

## 違反と罰則／判定について

### (1) ピストに上がる前に必ず確認すること

- ① プロテクターのチェック。※半袖付のプロテクターを必ず着用  
※女子は半袖プロテクター以外にプラスチックのプロテクターを着用することが義務付けられています。シャツの上にプラスチックプロテクターを着用し、その上から半袖プロテクターを着用します。  
※男子は半袖プロテクター以外にプラスチックのプロテクターを着用することは義務付けられていません。着用する場合はTシャツの上にプラスチックのプロテクターを着け、その上から半袖プロテクターを着用します。  
★プロテクター、ユニフォーム、グローブに破れ、ほつれ等がある場合、使用不可とします。ピスト上でしっかり検査して下さい。
- ② ユニフォームのファスナーはあがっているか。
- ③ ハイソックスは上がっているか。
- ④ グローブはつけているか。
- ⑤ 剣にワイヤーをつけているか。
- ⑥ ピストに上がる前にマスクを持っているか。
- ⑦ ピストに上がる前に後ろのポディーワイヤーを付けているか。  
★ピストに上がる時はすぐに試合のできる用意が整っていること。  
(ピスト上でコードをつないだりしてはいけない。)  
★上記①～⑥のことが守られていない場合、全てイエローカードを付与します。  
★用具検査のある時、マスク、ワイヤー、剣に用具検査マークがついていなければレッドカードを付与し、違反をしていない選手に1ポイント得点を入れる。

### (2) サリューについて

- ① 試合開始前スタートラインでのサリュー、試合終了後スタートラインに戻ってのサリューが義務付けられています。
- ② 試合開始前、試合終了後共に、サリューを拒否した場合、ブラックカードを付与します。  
★サリューは、相手の選手、観客、審判に向かって3方向に行うように選手に指示します。

### (3) 剣の湾曲

- ① フルーレ、エペの剣の湾曲は1 cm以内です。フルーレ・エペの場合、剣先が意図的に曲っている時も（フックしている場合）、イエローカードを付与します。
- ② サブルの剣の湾曲は4cm 以内です。  
★『アン・ガルト〜プレ!』の後、上記の違反を認識した場合、イエローカードを付与します。

### (4) スタートライン

- ① 試合開始時及びポイント得点後の構えなおし時は、常にスタートラインの内側につま先を位置させましょう。
- ② 高体連では、左ききの選手は、絶えず審判の左側のピストで、背中をみせての状況にならないようにして下さい。  
★スタートラインを踏み越えて構えた選手にイエローカードを付与します。

### (5) コル・ア・コル／ ボスクラー

《コル・ア・コルとはフランス語で身体と身体が接触するという意味》

《ボスクラーとはフランス語で乱暴に押すという意味》

- ① フルーレ、サブルでは試合中に単純なコル・ア・コルを起こした選手に対してイエローカードを付与します。
- ② エペの場合、試合中のコル・ア・コルは違反の対象になりません。アルトをかけて構え直しさせます。
- ③ トウシュを避けるためや、相手を押して故意的にコル・ア・コルを起こした場合はイエローカードを付与します。（3種目共通）
- ④ 試合中にぶつかった場合（ボスクラー／衝突）もイエローカードを付与します。（3種目共通）  
★アルト前・アルト後ともに適用され、違反を起こした選手のトゥシェは取り消します。

### (6) ショック・ボスクラー（3種目共通）

《ショック・ボスクラーは強く危険な衝突という意味》

- ① アン・ガルドが崩れるような、危険で強い衝突を起こした選手に対してレッドカードを付与します。（3種目共通）  
★アルト前・アルト後ともに適用され、違反を起こした選手のトゥシェは取り消します。

## (7) 相手に背中を向けた場合 (3種目共通)

- ① アルト前に対戦相手に背中を向けた場合、イエローカードを付与します。
- ② アルト後に対戦相手に背中を向けた場合は違反の対象にはなりません。  
★違反を起こした選手のトゥシェは取り消します。

## (8) 頭をさげた場合／ヘッドダウン (3種目共通)

- ① 試合中、頭を下げた(ヘッドダウン)選手に対して、イエローカードを付与します。なぜならば、危険な状況であるからです。
- ※② ビブが有効面の試合のフルーレの試合では、頭を下げたことにより、マスクのビブの部分が下がり、有効面が隠れるからです。  
★違反をした選手のトゥシェは取り消します。

## (9) ワイヤーについて (3種目共通)

- ① 試合中(「アレ！」から「アルト！」までの間)、ワイヤーに触れたり、引っ張ったり、掴んだりした場合、イエローカードを付与します。
- ② 電気線を接触させることによりランプが点灯する可能性があるからです。  
★違反をした選手のトゥシェは取り消します。

## (10) 有効面について

- ① 剣を持たない手や腕を使った場合、レッドカードを付与します。(3種目共通)
- ② 剣を持たない手で有効面を隠した場合、イエローカードを付与します。(フルーレ)
- ③ 肩の転移は認められますが、転移時に腕で有効面を覆っている場合はイエローカードを付与します。(フルーレ)  
★違反をした選手のトゥシェは取り消します。

## (11) 髪について

- ① 肩に髪の毛がかかった場合、イエローカードを付与します。(3種目共通)
- ② 試合の途中で上げた髪がほどけるような状況が繰り返された場合、イエローカードを付与します。(3種目共通)  
★特に女子の場合、束ねた髪が肩につかないようにして下さい。また、長い髪はマスクの中に入れる等して試合中にほどけないように注意させて下さい。

## (12) サイドライン/エンドラインの踏みこし (3種目共通)

- ① サイドライン (横の境界線) から片足を踏みこした選手に対し、アルトのかかった位置から違反をしていない選手に1メートル前進するよう指示し、ポアント・アン・リニューをさせます。違反をした選手にもポアント・アン・リニューをさせて、剣先が触れ合う距離で、お互いに構え直しをさせます。  
★偶発的原因の結果 (例えば、相手選手に押される等) として、サイドラインから片足が出てしまった場合、違反の対象になりません。
- ② エンドラインから1メートル内でサイドラインから片足を出してしまった選手に対して、上記罰則を適用するため、違反をした選手はエンドラインから押し出され、違反をしていない選手に1ポイント得点を入れます。  
★その時のハンドシグナルはポアントのみとなります。(トゥシェの付与は行わない)
- ③ 相手のトゥシェを回避するため、サイドラインから片足を出した選手に対し、上記の罰則を適用し、更にイエローカードを付与します。
- ④ トゥシェをした選手の両足がサイドラインから出ている場合、そのトゥシェは無効となります。その時、相手選手の片足がサイドラインから出ている、もう片方の足がピスト上に位置していた場合、その選手のトゥシェは有効です。

## (13) 対戦無意欲試合 (ノン・コンバット) の基準 (3種目共通)

- ① 1分間トゥシェがない場合  
(トゥシェとは、バラブル、ノン・バラブルのこと。)
- ② 剣の接触がない場合 (約15秒)  
剣のコンタクトがない又は過剰な距離で戦う約15秒間。  
上記の①・②のいずれかが見られた場合対戦無意欲とみなします。

## (14) 個人戦の対戦無意欲試合 (ノン・コンバット)

### ☆プール戦において (高体連ルール)

- ① 試合中、両選手が明白な対戦無意欲を示す場合、試合終了時に同点になる場合に備え、勝者を決めるための(プライオリティーの)抽選を行い、1分間の試合を行います。  
エリミナシオン・ディレクトにおいて
- ① エリミナシオン・ディレクト第1ピリオドで、両選手が明白な対戦無意欲を示す場合、1分間の休憩なしに、第2ピリオドへ進みます。
- ② 第2ピリオドで繰り返し対戦無意欲が行なわれる場合、1分間の休憩なしに第3ピリオドへ進みます。



- ③ 第3ピリオドにおいて両選手が明白な対戦無意欲が行われた場合、この最終1分間は試合を決定づけるものであり、試合終了時に得点が同点になる場合に備え、勝者を決めるための（プライオリティーの）抽選を先だって行います。但し、第3ピリオドの試合時間残り1分をきった場合、対戦無意欲試合が発生しても違反の対象にはなりません。なぜならば、この1分間で勝敗が決定される可能性があるからです。

★海外試合でも、国内のプール戦では対戦無意欲は違反ではありません。ノン・コンバット（対戦無意欲）はエリミナシオン・ディレクトのみ実施されます。高体連のプール戦では対戦無意欲は違反として罰則が適用されます。間違えないよう対応しましょう。

## ☆（15）学校対抗戦の対戦無意欲試合（ノン・コンバット）（高体連ルール）

☆《対戦無意欲の基準》⇒プール戦・個人戦同様

- ① 試合中、両選手が明白な対戦無意欲を示す場合、試合終了時に得点が同点になる場合に備え、勝者を決めるための（プライオリティーの）抽選を先だって行い、1分間の試合を行います。
- ② 繰り返し対戦無意欲が行なわれる場合も、①同様に行います。

## ☆（16）監督の違反行為（高体連ルール）

- ① 監督の試合中のアドバイスには、イエローカードを付与します。☆この場合、監督に関連する選手に適用し、その後のアドバイス等や、第一グループの違反『例えば、プロテクターをしていない、用具の不備等』は全てレッドカードが付与されペナルティトゥッシュとなります。

第二グループ～第四グループの違反はルール通りに適用されます。

※監督イエローは1つの試合が終了したら解除とします。（個人戦・学校対抗戦）

## （17）アタック・ノン（ノン・コレクト）

- ① 腕を引いた攻撃
- ② 肘が曲ったアタック・攻撃
- ③ プレパレーションでポイント先が相手の有効面を脅かしていない
- ④ ポイントが相手の有効面につく前に足が床につく攻撃（サーブル）
- ⑤ アタックが短すぎてトゥッシュがない

★上記の場合、アタックとして認識しません。選手が最終ポイントをプリミエール（1本目）でつけているかを判定していきましょう。

The End